

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成22年7月12日

施設名	高知県立土佐西南大規模公園 (大方・佐賀地区)	所管課名	土木部 公園下水道課
-----	----------------------------	------	---------------

1 施設の概要

指定管理者名	特定非営利法人 NPO 砂浜美術館	指定期間	平成18年4月1日～平成21年3月31日 平成21年4月1日～平成24年3月31日
施設所在地	高知県幡多郡黒潮町佐賀、入野他		
事業内容	1. 施設の運営に関する業務 (1)施設等の利用に関する業務 (2)施設等の利用料金の徴収 (3)ピオスおおがた情報館の運営 2. 施設等の維持管理に関する業務 (1)施設等保守管理業務 (2)植栽管理業務 (3)清掃業務 (4)運動施設管理業務 (5)警備業務 3. 公園全般に係るその他の業務 (1)公園の利用案内 (2)利用促進のための企画等の実施 (3)周辺市町村・団体等との協力、連携 (4)県民やボランティア等との協働事業の推進 (5)公園に関する情報の提供 (6)公園に関する要望及び苦情の処理 (7)緊急対応体制の確立 4. 物品の管理		
施設内容	○ 面積、施設・設備名、定員、開館時間、休館日、主な料金など <大方地区> 面積:34.6ha 【体育館】 収容:2階観覧席956席 バレーボール6人制3面、バスケットボール2面 利用料:非営利・アマチュア 高校生以下 6,850円/日 ,その他の者 13,710円/日 【テニスコート】 12面 高校生以下 1面230円/時 その他の者1面470円/時 【球技場】 収容:1,400人 利用料:非営利・アマチュア 高校生以下 4,950円/日 ,その他の者 9,930円/日 【運動広場】 ソフトボール 4面 利用料:アマチュア 高校生以下 2,020円/日 ,その他の者 4,050円/日 【陸上競技場】 400m 8コース サッカー1面 ラグビー1面 高校生以下 3,900円/日 ,その他の者 7,800円/日 【パークゴルフ場】 コース数 18コース 利用料:高校生以下 250円/日 ,その他の者 500円/日 【遊戯施設】 スケートパーク、ラジコン場、散策広場、キャンプ場(宿泊500円 一時利用250円) 【ふるさと総合センター】 収容:大ホール 500人(12,910円/日) <佐賀地区> 面積:10.5ha 【多目的広場】【スケートパーク広場】【展望広場】 開園時間:8:30～17:00 休園日:火曜日、12月29日～1月3日(キャンプ場は11月～3月は休み)		
職員体制	公園施設担当 5名 情報館担当 5名 植栽・清掃については非常勤で20名程度勤務		

2 収支の状況

単位:円

		20年度(決算)	21年度(決算)	22年度(予算)
収入	県支出金	44,700,000	45,000,000	44,800,000
	使用料	10,143,925	11,244,940	9,700,000
	その他(自主事業)	1,443,848	1,153,285	1,200,000
	収入計 (a)	56,287,773	57,398,225	55,700,000
支出	事業費	0	0	0
	管理運営費	42,406,077	43,159,543	22,296,000
	人件費	13,208,622	13,418,382	32,804,000
	消費税	673,074	820,300	600,000
	支出計 (b)	56,287,773	57,398,225	55,700,000

3 利用状況

	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(目標)
①年間利用者数(単位:人)	87,644	66,401	73,000
②利用者意見等の反映	<p>○ 利用者アンケート等の実施状況(時期・方法・回答数・調査結果等)</p> <p>利用者アンケート等は実施していないが、スポーツ施設の各種利用団体との連絡や意見交換を通じて、管理運営に活用している。                      今後はビオスおおがた情報館や体育館等にアンケート用紙を設置する等、幅広く利用者の意見を聞く仕組みを作り、得られた結果を利用者サービスの向上や維持管理のレベルの向上に生かして利用促進につなげていくことが必要になると思われる。</p>		
	<p>○ その他</p> <p>ビオスおおがた情報館の駐車場内にあるトイレは、使用頻度が高く、苦情が寄せられるので、清掃については回数を多くして対応していたところ、浄化槽の機能の問題もあり、県が改修工事に取り組んだが、指定管理者として利用者の声の反映や資料の作成に対応したところは評価できる。                      また、陸上競技場の側溝の安全性について、利用者の声を県に伝え、側溝の蓋の整備に繋がったことは評価できる。</p>		

4 平成21年度業務評価

項目	状況説明
①適正な管理運営の確保	<p>概ね事業計画に基づく適正な運営管理が実施されていたが、エレベーターの点検等が一部未実施であったため、次年度当初に実施をしたものがあった。                      今後は点検のチェックリスト等を作成し、年度中に点検すべき施設や機械について漏れのないように工夫すべきと思われる。</p>
②利用者サービスの維持向上	<p>陸上競技場のカット芝を、球技場の芝生の張り替えに活用する取り組みを開始し、施設のレベルの向上及び利用者の満足度の向上に努めていることは評価できる。                      パークゴルフ場は指定管理者が国際公認コースを取得したことで利用者の増加につながっており、スポーツの振興・健康増進の寄与の面からも積極的な取り組みとして評価できる。                      情報発信のツールとして、ビオスおおがた情報館に掲示板を設置し、イベント等の情報を提供している</p>
③利用実績	<p>スポーツゾーンの施設では、テニスコート、体育館、パークゴルフ場及び陸上競技場で、利用件数、人数及び収入金額において前年度を上回る数値となり、地元愛好者や関係団体との連携の成果が見られる。また、パークゴルフ場は国際公認コースの取得が利用者増につながっていることもあげられる。陸上競技場は、球技場の芝生化のために使用が制限され、その分の利用が陸上競技場に流れたことも要因であろう。                      ふるさと総合センターは、平成20年度に地元団体の利用頻度が高かったため、21年度に減少しているが、ほぼ平年並みに戻ったといえる。キャンプ場は順調に利用状況が伸びている。                      全体的にみて、利用者サービスの向上の取り組みが利用実績の増加として成果をあげているとして評価できる。</p>
④収支の状況	<p>印刷製本費や嘱託費の支出が増加したが、利用料収入の増加があり、自動販売機収入からの繰入で赤字を補填している。</p>
総合評価	<p><b>B</b></p> <p>協定書及び事業計画に基づき管理運営業務が実施されるとともに、利用促進のための維持管理レベルや利用者サービス向上にも取り組んでおり、ほぼ適正な管理運営がされたと認められる。                      特に、球技場の芝生化の取り組みやパークゴルフ場の国際公認コースの取得の取り組み等により、スポーツ施設の利用者サービスが向上し、利用料収入の増加にもつながっていることは評価できる。また、ビオスおおがた情報館の掲示板や公園のパンフレットの作成等公園及び地域の特性を生かしたセンスのある情報提供のツールを作成していることは評価できる。</p>

- 【評価の目安】
- A: 仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
  - B: おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
  - C: 仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
  - D: 管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの